

2013年度のスチール缶リデュース率 1缶当たり5.67%(2.02g/缶)の軽量化を実現

2010年度策定の第2次自主行動計画目標「1缶当たり重量4%の軽量化」を昨年度5%に上方修正したが、初年度でこれを達成した。

＜第2次自主行動計画概要(2013年度修正分)＞

- 基準年度:2004年度、目標年度:2015年度
- 目標「目標年度に、基準年度比重量5%の軽量化を目指す」
- 基準年度(2004年度)の1缶当たり重量: 35.67g

容器包装の素材に係るリサイクル八団体は、2005年12月に「3R推進団体連絡会」を結成、3R推進に向けた「事業者による自主行動計画」を策定し、2006年3月28日に公表しました。

これを受け、スチール缶製造の企業で構成する日本製缶協会は、2006年6月「スチール缶軽量化推進委員会」を立ち上げ、スチール缶の軽量化の取り組みを開始しました。

《スチール缶軽量化推進の概要》

- ・ 主要缶型の生産数を調査
- ・ 生産数において、主要缶型4缶型で85%前後占めることが判明したことから、この4缶型で軽量化の研究・実用化を推進。
- ・ 主要4缶型:200ml缶、250ml缶、280ml缶、350ml缶
- ・ 2013年度主要4缶型のカバー率は、83.2%
- ・ 集計調査は、第三者機関にて実施。

【参考】

詳細については、本頁裏面の「スチール缶のリデュース(軽量化)に関する実績(2013年度)」をご参照ください。